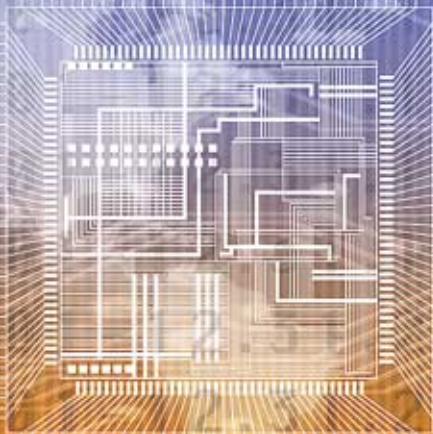


株主・投資家の皆様へ

第 11 期
中間事業報告書

平成14年1月1日から
平成14年6月30日まで



01.01-06.30.2002. **six** 7613
We care.

シークス株式会社

CONTENTS

株主の皆様へ	1
営業概況	2
グループ経営戦略	3
トピックス	4
中間連結財務諸表	5
中間単独財務諸表	8
株式の状況	9
会社概要	10

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃から温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

ここに第11期中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は1992年7月1日の会社設立以来、本年で節目の10周年を迎えることができました。その間、1999年9月に大阪証券取引所第二部、ついで2000年11月には東京証券取引所第二部市場への上場も果たすことができました。これもひとえに株主の皆様をはじめとする多くの方々のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、世界およびわが国の経済情勢は今年に入り回復の兆しを見せ、第1四半期には底を打った模様であります。当社の今中間期の売上状況も前年に比べ改善してまいりました。しかしながら、まだ景気の回復力に力強さは見られず、引き続き厳しい状況が続くものと気を引き締めております。一方、当社を取り巻く営業環境をみますと、こうした不透明かつ低成長の時代であるが故に、モノづくりの大胆な変革が求められており、製造の海外移転や部材調達、製造、物流といった各段階での様々な形でのアウトソーシングの活用が進んでおります。当社といたしましては、こうしたアウトソーシングニーズをEMSビジネスとして取り込むべく、タイ・中国など海外主要工場の生産能力・技術を増強し、液晶モジュール・カメラモジュール等の通信機器や車載関連機器など今後の有望分野への取組みを予定通り進めてまいりました。引き続きEMS事業をコア分野として強化していきたいと考えております。

本年下期より次の10年に向けスタートするにあたり、社員一同、心を新たに業績の向上に努力する所存でございますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成14年8月

取締役社長 村井史郎



営業概況

昨年の第4四半期は、米国の同時多発テロをきっかけとして、世界的な同時不況への突入が懸念されましたが、本年第1四半期にはアメリカ経済が力強い回復を見せ、わが国の経済も、アジアや米国向けを中心とした輸出の拡大や在庫調整の進展により、実質成長率が1年ぶりにプラスに転じました。この結果、わが国経済は本年上半期に底入れをしたものと見られております。しかしながら、アメリカ経済の成長率鈍化、円高の進行に加え、設備投資・個人消費が依然低迷していること等から、今後の回復力は緩やかなものにとどまる見込みです。当社を取り巻く業界も本年上半期には、半導体や液晶等の部品在庫調整の一巡、パソコン需要の持ち直し、デジタルカメラ、DVD等民生電子機器の販売好調等に支えられ、受注状況の回復が見られました。こうした情勢の中で、当社の当中間連結会計期間の業績も、IT不況の影響が大きかった前年同期に比べて、通信機器、車載関連などの電子部門の販売が堅調に推移しました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は43,762百万円となり、前中間連結会計期間に比べ、4,464百万円の増加(前年同期比11.4%増加)となりました。また、売上原価の逓減に努めた結果、売上総利益は3,071百万円となり、売上総利益率は前中間連結会計期間に比べ、0.5%改善し7.0%となりました。携帯電話用半導体の設計・開発費用の増加等により、販売費及び一般管理費が増加しましたが、営業利益は562百万円となり、前中間連結会計期間に比べ、315百万円の増加(前年同期比127.6%増)となりました。経常利益はドルの主要通貨に対する急速な下落による多額な為替差損の発生等で、199百

万円となり、前中間連結会計期間に比べ382百万円減少(前年同期比65.7%減少)し、当期純利益は38百万円で、前中間連結会計期間に比べ170百万円の増加となりました。

事業のセグメント別の状況は次のとおりであります。

電子部門

当社グループのコアになる部門で、通信機器、情報機器、民生機器、車載関連、一般電子部品・デバイス等に係る完成品、組立品、基板実装、部品単体・キット等の領域を幅広くカバーしております。当中間連結会計期間におきましては、携帯電話用液晶基板実装・家電機器の完成品・携帯電話用部材の出荷等が堅調に推移した結果、売上高は38,027百万円(前年同期比15.7%増加)、営業利益は1,007百万円(前年同期比54.6%増加)となりました。

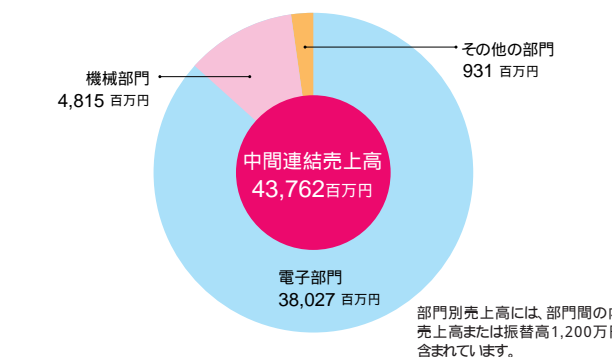
機械部門

オートバイ用部材、自動車用ワイヤーハーネス部材、空調機器、設備機械等を取り扱っておりますこの部門は、オートバイの小型排気量モデル用部材やワイヤーハーネス部材の受注の減少等により、当中間連結会計期間の売上高は4,815百万円(前年同期比13.4%減少)、営業利益は32百万円(前年同期比42.3%減少)となりました。

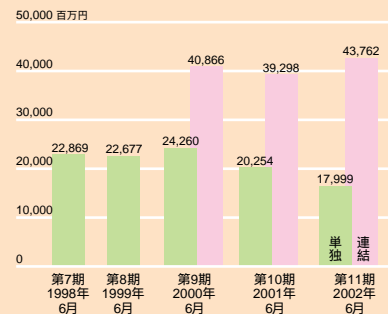
その他部門

フロンガス、合成樹脂、印刷インキ、化成品等を取り扱っておりますこの部門は、売上高は931百万円(前年同期比6.0%増加)、営業利益は38百万円(前年同期比28.5%減少)となりました。

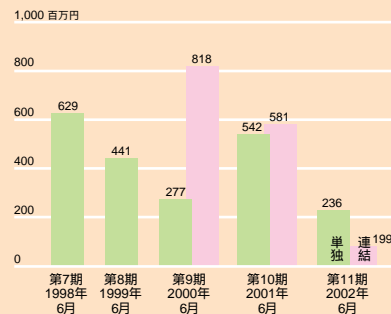
部門別中間連結売上高構成



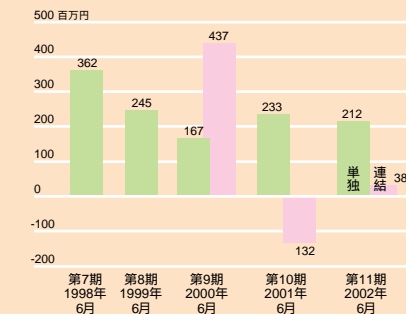
売上高



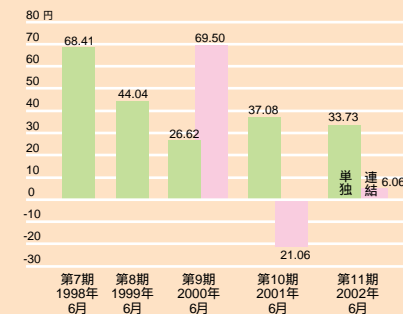
経常利益



中間(当期)純利益



1株当たり中間(当期)利益



2000年6月期連結の数値は参考であり、監査法人の監査を受けておりません。

グループ経営戦略



経営の基本方針

世界の製造業がボーダレスに製造場所を選択し、また一層のアウトソーシング化が進行しつつある中で、当社はエレクトロニクス関連事業をコア分野として、EMS(電子機器受託製造サービス)事業、モジュール事業、製品企画事業に経営資源を集中し、世界各地で製造業が必要とする資材調達、製造拠点、営業、マーケティング等のサービスをリアルタイムに提供することを事業の基本方針としておきます。

会社の経営戦略と対処すべき課題

製造のアウトソーシング、調達のグローバル化等へのニーズの高まりや、業種を問わず進展するエレクトロニクス化の動きに対応して、設計・開発、部材調達、部品・モジュール・機器の製造、物流、販売等の幅広い領域をカバーするEMS事業を強化していく所存です。

取扱分野の拡大

収益基盤の安定化、成長分野への取組みの観点から、従来の通信・情報機器、AV機器分野に加えて、比較的商品サイクルが長く、かつ一層の電子化が見込まれる車載関連機器や民生機器・産業機器関連のEMSビジネス拡大に注力いたします。

モジュールビジネスの強化

製造業のアウトソーシング化は製品開発の省力化、期間短縮という要求を伴います。こうしたニーズに対して当社は、国内外の当社グループ開発・設計会社、有力メーカー等

と提携し、カメラモジュール、LCDモジュール等各種モジュールの設計・開発・製造・販売を強化しております。特に今後発売されるほぼ全ての携帯電話に搭載が期待される超小型CCDにレンズを一体化したカメラモジュールには、一層注力いたします。

製造部門の強化

車載関連機器やモジュール製造の増加に伴う生産能力・品質・技術要求の高度化に対応して、当社グループの旗艦工場であるタイや中国・東莞等の生産子会社での設備増強を進めております。タイでは当社100%出資の電子基板実装会社SIIX EMS(Thailand)Co.,Ltd.の新工場に新たにクリーンルームを増設、現在実装量世界第三位の0603チップの実装事業により高いクリーン度を提供することで付加価値を高めています。また中欧はスロバキアに設立した合併生産会社Sluzba SIIX Electronics s.r.o.の第二工場の建設に着工、拡大EU域内の消費に対応するEMS工場として、地理的なメリットと中欧の割安の人件費で比較優位のビジネスメリットを提供してまいります。



シークスEMSネットワークの中核をなす旗艦工場です。

トピックス

2002年中間期



インターネットワールドジャパン プリント配線板EXPOに出展

本年1月16～18日に開催された「インターネットワールドジャパン プリント配線板EXPO」EMSゾーンに出展致しました。当社が海外に展開するEMS工場10拠点の特色を前面に出した展示内容でした。多様化するアウトソーシングに対するお客様のご要望を的確に把握し、最適なEMSサービスを提供するため、第一線で活躍する当社営業がブースに立ち数多くの商談の場を持ちました。



SIIX EMS(Thailand)Co.,Ltd.のクリーンルーム設備の着工

当社EMSのフラッグシップ工場であるSIIX EMS(Thailand)Co.,Ltd.にクラス10,000のクリーンルーム設備の導入を決定し、着工致しました。0603サイズのような微細なチップ部品を用いた基板実装品の実装工程においては高いクリーン度が要求されます。電子機器の小型化に伴います実装密度が高まるのは必至であり、高品質の基板実装を実現する上ではクリーンルームの導入は不可欠と判断しました。携帯電話に搭載されるカメラモジュールはこのクリーンルーム内の実装ラインで製造されます。



微細チップ部品のサイズ比較。1005(1.0×0.5mm)と0603(0.6×0.3mm) SIIX EMS THAILAND "の文字の1点1点がチップ部品で構成される。

Sluzba SIIX Electronics(スロバキア)の第二工場着工

EU内での拡大するEMS需要に対応するため、オーストリア・ウィーンから程近いスロバキアに合併で設立したSluzba SIIX Electronicsの第二工場建設に着工致しました。完成は本年12月の予定です。

中間連結財務諸表

中間比較連結貸借対照表

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年6月30日現在) 百万円	(H13年6月30日現在) 百万円	(H13年12月31日現在) 百万円
資産の部			
流動資産	24,642	23,266	24,326
現金及び預金	5,617	3,255	4,434
受取手形及び売掛金	12,994	12,564	14,223
たな卸資産	4,883	6,127	4,461
繰延税金資産	233	459	215
その他	1,325	1,289	1,412
貸倒引当金	412	430	421
固定資産	6,604	6,248	6,863
有形固定資産	3,689	3,332	3,798
無形固定資産	99	141	134
投資有価証券	1,469	1,478	1,522
繰延税金資産	442	136	295
その他	1,286	1,390	1,414
貸倒引当金	381	230	301
資産合計	31,247	29,514	31,190

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年6月30日現在) 百万円	(H13年6月30日現在) 百万円	(H13年12月31日現在) 百万円
負債の部			
流動負債	19,468	19,203	19,014
買掛金	8,718	8,783	10,582
短期借入金	8,741	8,273	6,453
繰延税金負債	27	72	30
その他	1,981	2,073	1,947
固定負債	2,572	1,414	2,651
長期借入金	1,832	606	1,868
退職給付引当金	427	277	448
役員退職慰労引当金	167	140	153
繰延税金負債	37	2	46
その他	107	387	133
負債合計	22,041	20,617	21,666
少数株主持分	226	92	247
資本の部			
資本金	2,144	2,144	2,144
資本準備金	1,853	1,853	1,853
連結剰余金	5,383	5,183	5,383
その他有価証券評価差額金	98	27	116
為替換算調整勘定	301	347	12
資本合計	8,979	8,804	9,276
負債・少数株主持分・資本合計	31,247	29,514	31,190

中間比較連結損益計算書

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	(H13年1月1日 - H13年6月30日) 百万円	(H13年1月1日 - H13年12月31日) 百万円
売上高	43,762	39,298	82,218
売上原価	40,690	36,729	76,659
売上総利益	3,071	2,569	5,558
販売費及び一般管理費	2,509	2,322	4,728
営業利益	562	247	829
営業外収益	306	502	1,003
営業外費用	669	167	401
経常利益	199	581	1,431
特別利益		48	118
特別損失	113*	713	1,074
税金等調整前中間(当期)純利益又は中間純損失()	85	83	474
法人税、住民税及び事業税	232	487	584
法人税等調整額	182	440	236
少数株主利益又は損失()	3	2	21
中間(当期)純利益又は中間純損失()	38	132	104

*当中間期の特別損失の内訳は次の通りであります。
 投資有価証券評価損 66百万円
 貸倒引当金繰入額 47百万円

中間比較連結剰余金計算書

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	(H13年1月1日 - H13年6月30日) 百万円	(H13年1月1日 - H13年12月31日) 百万円
連結剰余金期首残高	5,383	5,373	5,373
連結剰余金減少高	37	57	95
中間(当期)純利益又は中間純損失()	38	132	104
連結剰余金中間期末(期末)残高	5,383	5,183	5,383

中間比較連結剰余金計算書記
 剰余金減少高の内訳は次の通りであります。 当中間期 前中間期 前 期
 配当金 37百万円 37百万円 75百万円
 取締役賞与金 百万円 20百万円 20百万円

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	(H13年1月1日 - H13年6月30日) 百万円	(H13年1月1日 - H13年12月31日) 百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益又は中間純損失()	85	83	474
減価償却費	343	275	639
貸倒引当金の増加額	100	18	122
受取利息及び受取配当金	130	110	176
支払利息	104	152	282
為替差損益	408	211	540
持分法による投資損益	66	19	46
売上債権の減少額	593	12,747	3,730
たな卸資産の増減額	621	896	1,351
仕入債務の減少額	1,272	11,965	2,622
在庫損失		446	402
退職給付移行時差異償却		207	415
その他	404	450	361
小 計	725	1,011	4,487
利息及び配当金の受取額	129	110	178
利息の支払額	109	130	289
法人税等の支払額	263	428	884
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	563	3,491
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出		297	
有価証券の売却等による収入		401	
有形固定資産の取得による支出	230	598	1,195
有形固定資産の売却による収入	2	3	0
無形固定資産の取得による支出	4	10	26
投資有価証券の取得による支出	46	318	579
投資有価証券の売却等による収入	35	272	154
貸付けによる支出		861	174
貸付金の回収による収入	21	892	148
その他	9	28	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	231	542	1,692
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	2,442	809	2,392
長期借入れによる収入		521	1,900
長期借入金の返済による支出		64	563
配当金の支払額	37	37	75
少数株主への配当金の支払額		9	9
少数株主からの払込			146
その他		8	
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,404	407	994
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	90	75
現金及び現金同等物の増減額	1,178	295	879
現金及び現金同等物の期首残高	4,401	3,521	3,521
現金及び現金同等物の期末残高	5,579	3,225	4,401

中間単独財務諸表

中間比較貸借対照表

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年6月30日現在) 百万円	(H13年6月30日現在) 百万円	(H13年12月31日現在) 百万円
資産の部			
流動資産	10,489	10,128	9,999
現金及び預金	1,013	1,379	1,357
受取手形	190	294	257
売掛金	6,996	6,304	6,863
たな卸資産	1,285	1,102	694
繰延税金資産	197	204	159
未収消費税等	303	326	324
その他	526	551	376
貸倒引当金	24	35	34
固定資産	4,887	4,409	4,820
有形固定資産	48	51	53
無形固定資産	6	5	4
投資その他の資産	4,832	4,353	4,761
投資有価証券	2,602	2,562	2,622
繰延税金資産	435	294	448
その他	1,943	1,572	1,821
貸倒引当金	148	76	130
資産合計	15,377	14,538	14,819

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年6月30日現在) 百万円	(H13年6月30日現在) 百万円	(H13年12月31日現在) 百万円
負債の部			
流動負債	6,929	7,512	6,522
買掛金	3,840	4,617	4,351
短期借入金	2,378	2,138	1,734
未払法人税等	16	169	48
未払費用	405	389	240
賞与引当金	53	56	52
その他	235	142	95
固定負債	2,427	1,051	2,468
長期借入金	1,832	600	1,866
退職給付引当金	427	276	448
役員退職慰労引当金	167	140	153
その他		33	
負債合計	9,356	8,563	8,990
資本の部			
資本金	2,144	2,144	2,144
資本準備金	1,853	1,853	1,853
利益準備金	34	30	34
その他の剰余金			
任意積立金	1,600	1,500	1,500
中間(当期)末処分利益	488	475	414
その他の剰余金合計	2,088	1,975	1,914
その他有価証券評価差額金	98	27	116
資本合計	6,021	5,974	5,829
負債及び資本合計	15,377	14,538	14,819

中間比較損益計算書

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H14年1月1日～ H14年6月30日) 百万円	(H13年1月1日～ H13年6月30日) 百万円	(H13年1月1日～ H13年12月31日) 百万円
売上高	17,999	20,254	38,126
売上原価	17,318	19,638	36,716
売上総利益	681	616	1,410
販売費及び一般管理費	918	914	1,856
営業損失()	236	298	445
営業外収益	641	870	1,169
営業外費用	168	29	52
経常利益	236	542	671
特別利益	61	25	94
投資有価証券売却益		25	25
オプション取引解約益			68
貸倒引当金戻入益	61		
特別損失	113	299	581
退職給付移行時差異償却		207	415
関係会社株式評価損		59	
在庫損失		32	
投資有価証券評価損	66		165
貸倒引当金繰入額	47		
税引前中間(当期)純利益	184	268	183
法人税、住民税及び事業税	9	233	213
法人税等調整額	37	198	243
中間(当期)純利益	212	233	213
前期繰越利益	276	241	241
過年度税効果調整額			
中間配当額			37
中間配当に伴う利益準備金積立額			3
中間(当期)末処分利益	488	475	414

株式の状況

株式の状況 2002年6月30日現在)

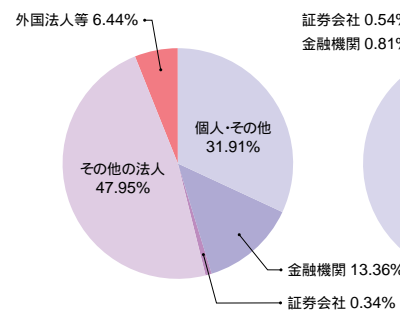
会社が発行する株式の総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 6,300,000株
 当期末株主数 1,493名

大株主 2002年6月30日現在)

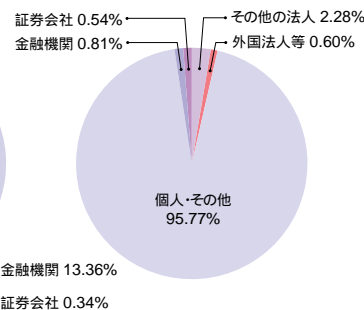
株主名	持株数 株	持株比率 %
サカタインクス 株式会社	2,849,000	45.22
村井 史郎	450,000	7.14
株式会社 あさひ銀行	220,000	3.49
株式会社 三井住友銀行	200,000	3.17
ピーピーエイチ フォー フィデリティー ジャパン スモールカンパニー ファンド	156,000	2.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	146,000	2.32
シークス 社員持株会	110,900	1.76
投資信託受諾者	98,600	1.57
三井アセット信託銀行株式会社	90,000	1.43
株式会社 東京三菱銀行	90,000	1.43
バンクオブバヌアダガンジー リミテッド アトランティスジャパン グロースファンド	69,500	1.10

当社の当該大株主への出資はありません。

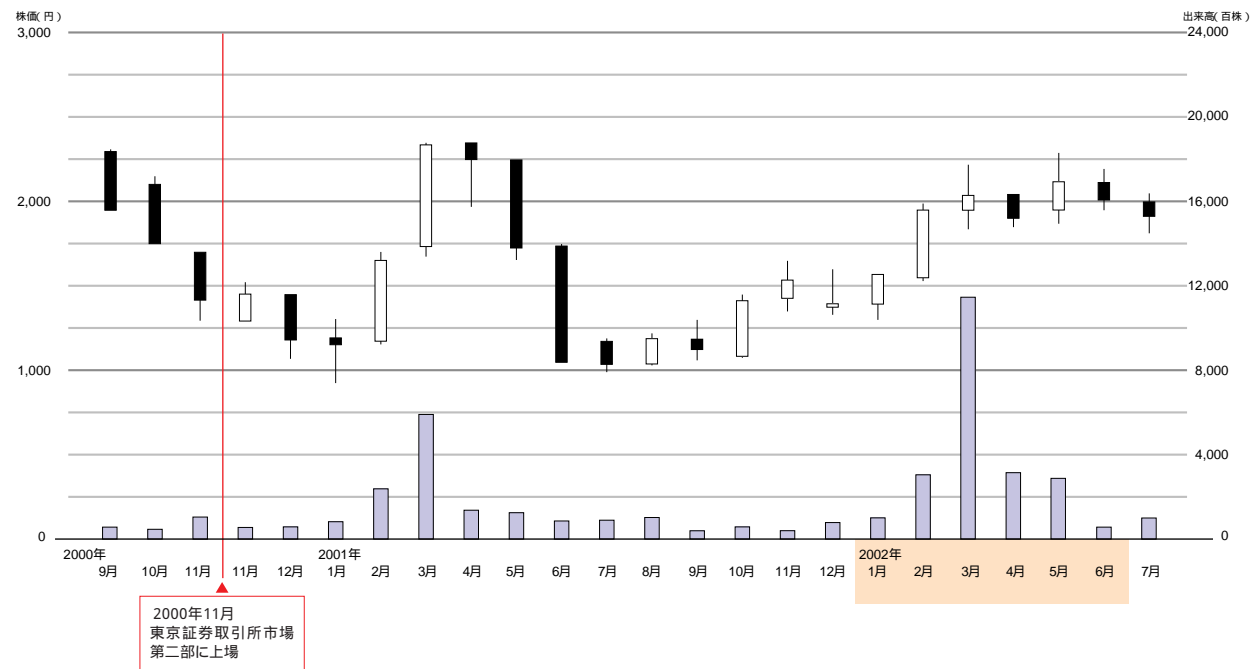
所有者別所有株数



所有者別株主数



株価・出来高推移 2001年9月～2002年7月)



2000年11月
東京証券取引所市場
第二部に上場

会社概要

会社概要 2002年6月30日現在)

商号 シークス株式会社
 設立 1992年7月1日
 資本金 2,144百万円
 従業員数 157名
 本社 大阪市中央区南本町1-8-14
 東京事務所 東京都千代田区神田須田町2-7-3
 U R L <http://www.siix.co.jp>

役員および監査役 2002年6月30日現在)

取締役社長	村井 史郎	
取締役	武内 繁憲	第1・第2・第3・海外生産(EMS)グループ担当
取締役	橋詰 研作	総務部・経営企画部・関連事業部担当、経理部長、業務部長
取締役	村瀬 漢章	企画開発部長・生産管理部長
取締役	嶋井 節夫	システム管理室長
取締役	大庭 勝躬	第4・第5・第6グループ担当
取締役	宮田 光雄	産業機器グループ・新事業開発グループ担当
常勤監査役	中塚 久夫	
監査役	池本 雅勇	サカタインクス株式会社 代表取締役副社長
監査役	北村 玄一	サカタインクス株式会社 常勤監査役

監査役のうち、池本雅勇氏、北村玄一氏は、商法特例第18条第1項に定める社外監査役です。



関連子会社・事業所一覧 2002年6月30日現在)

関連子会社	主な事業内容
Siix Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の輸出入販売
Siix H.K. Ltd. : China	電子部品等の輸出入販売
Siix TWN Co., Ltd. : Taiwan	電子部品等の輸出入販売
Siix Logistics Phils., Inc. : Philippines	電子部品等の輸出入販売
Siix Logistics Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の物流
Siix Electronics Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の輸出入販売
Siix Bangkok Co., Ltd. : Thailand	電子部品等の輸出入販売
Siix (Shanghai) Co., Ltd. : China	電子部品等の輸出入販売・物流
Siix Europe GmbH : Germany	電子部品等の輸出入販売
Siix U.S.A. Corp. : Illinois, U.S.A.	電子部品等の輸出入販売
Siix Phils., Inc. : Philippines	電子部品等の輸出入販売
PT Siix Electronics Indonesia : Indonesia	電子回路実装および機器・部品の組立・加工

関連子会社	主な事業内容
Siix EMS(Thailand) Co., Ltd. : Thailand	電子回路実装および機器・部品の組立・加工
Nansha Sakata Ink Corp. : China	印刷インキの製造販売
イスロン株式会社 : Japan	半導体の設計・開発
Sluzba Siix Electronics s.r.o. : Slovakia	電子回路実装および機器・部品の組立・加工

事業所

Siix U.S.A. Corp. San Jose Branch : Calif., U.S.A.
Siix do Brasil Ltda. : Brasil
PT Siix Indonesia : Indonesia
Siix Corp. Seoul Liaison Office : Korea
Siix H.K. Ltd., Shenzhen Liaison Office : China
Siix Singapore Pte. Ltd. Chennai Liaison Office : India



株主メモ

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 そのほか必要のあるときは、 あらかじめ公告して定めた日
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
1単元の株式の数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
